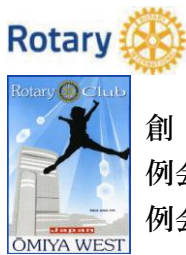


# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



## 2020～21年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日 会 長 染谷 義一  
 例会場：パレスホテル大宮 幹 事 荒井 理人 第2680例会 2020/3/22  
 例会日：月曜日 12:30～13:30 雑誌・会報委員会 榎本 貞寿 発 行 日 2020/3/29

## 会長挨拶

### 会長 染谷 義一

皆さんこんにちは。お久しぶりでございます。不要不急の外出自粛を残したままとは言え、緊急事態宣言が解除されましたので、当クラブでは3密を避け、万全の対策を取ってハイブリッド例会に戻しました。とは言え、体調の優れない方、基礎疾患のある方はZoomでの参加も継続しておりますので、会員の皆様におかれましてはご無理のないようお願い致します。

今から丁度58年前に当クラブは、ここ大宮で産声を上げました。今日は当クラブの創立記念日であります。誕生日を祝って本日のデザートは多少格好をつけさせていただきました。本来ですと創立記念事業と銘打って賑々しくしたいのですが、この様な環境下の為、開催することが出来ません。ささやかではありますが、デザートの上にお祝いのチョコプレートに乗せさせていただきました。誕生日の雰囲気だけでも感じていただければと思います。

本日の例会は、ラオフレンズ小児病院の代表理事であります赤尾和美さんにお越しいただき、ラオスの小児病院とオンラインで繋ぎ例会をお届けしたいと思っております。現在の小児病院の様子や、本年度寄贈させていただきましたオンライングループビデオ会議システムの使っている様子を教えていただければと思っております。赤尾様、本日の例会、宜しくお願い致します。

昨日、米山記念奨学生の修了式がございました。ディルバさんも2年の奨学期間を経て無事に修了されました。クラブの米山記念奨学委員会 松本副委員長にもご参加をいただき、盛り



上げることが出来ました。大変お疲れ様でございました。

そして本日、米山功労者への表彰、次年度地区役員への委嘱書もお渡しさせていただきたいのですが、密を避けるため、お名前のみお呼びさせていただきますので、その場でお立ちいただければと思います。

また高橋秀樹パストが今月末日をもってご退会され、後任者と致しまして中嶋正尊様をお迎えいたします。4月に入りましたら入会式を執り行いたいと思っております。ご存じの通り高橋秀樹パストが会長の時の幹事が私でございました。お勤めをされていた会長でしたので、何れはこの日が来ると覚悟をしておりましたが、やはり現実となりますと寂しいものであります。現環境で大人数での送別会を開くことができませんが、プライベートの少人数であります。私の音頭で送別会を開きたいと思っております。改めてご案内をさせていただきます。高橋パスト会長の退会のご挨拶は次回例会でお時間をとらせて頂きたいと思っております。

どうぞ会員の皆様にかかれましては、ご健康に一層のご留意をいただいてロータリーライフを送って頂きたいと思っております。以上会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

## ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】  
押野 一郎 会員



## お客様ご紹介

ご紹介：副会長 内山 泰成

- ラオフレンズ小児病院 代表理事 赤尾 和美 様
- 大宮ソニックシティ(株) 中嶋 正尊 様
- 米山記念奨学生 ディルバ・サレマンさん



みんなが開く 新しい扉 ～新しい世界へ～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



## 幹事報告



**副幹事 十文字 裕司**  
皆さんこんにちは。本日は荒井幹事に変わって、副幹事の十文字が幹事報告をさせていただきます。

緊急事態宣言が発令され、1月18日よりオンライン例会となり、はや2ヶ月が経過し、会員の皆様と直接お会い出来ずに寂しい例会が続いていました。しかし、昨日で緊急事態宣言も解除され、本日より会場参加とオンラインとのハイブリット例会とさせていただきます。

久しぶりに多くの会員と直接お会い出来て嬉しく思います。しかしながら宣言が解除されたとは言え、まだまだ注意をしなければいけない状況だと思っておりますので、くれぐれも無理をせず今後も会場参加かオンラインかの選択をして下さい。

それでは幹事報告をさせていただきます。2月の予定から延期となっていました移動例会が4月5日に開催されます。担当の小島委員長や井上部門委員長、そして会場のご協力を頂いた金田会員により、コロナ対策を十分に踏まえての開催となっておりますので、ご参加の程宜しくお祈りいたします。尚、この日はZoomでの参加は出来ませんので、ご了承下さい。

## 委員長報告



**職業奉仕委員会委員長 小島 徹**  
4月5日の移動例会は金田会員の「ステラ・デル・アンジェロ」です。よろしくお祈りいたします。

**第4 G/IM実行委員 福田 和子**

延期になっていたIMが5/17(月)にパレスホテル大宮で開催されることになりました。この状況下です。万全の対策のもと、来賓様を含み80名以内で開催されます。一般会員は、Zoomでご参加ください。

式典点鐘は16:00、講演会は16:30からです。講師は、いすみ鉄道 元代表取締役 鳥塚亮(とりつかあきら)氏で、「ローカル鉄道は、負債と考える向きであったが、アイデア次第で資産となる」がテーマの事業再生の話です。各企業が参考となると思いますので、どうぞZoomでご参加ください。なお、懇親会はありません。

**財団支援部門部門委員長 藤嶋 剛史**

10月の米山月間にお祈りしました米山寄付の結果、第2米山月間の今月、ガバナー月信に当クラブより58名の会員が功労者として掲載されました。おかげ様で地区過去6年間での最高の寄付額となり、4月から素晴らしい奨学生を迎えられることになりました。また、3月21日はディルバさんの地区米山修

了式でした。3月末までは奨学生ですので、来週の例会で最後のスピーチをしてもらいます。ぜひ多くの皆様にご参加をお願いします。

2020 学年度 米山記念奨学生 修了式の様子



**広報・公共イメージ部門 部門委員長 石丸 主憲**

次回3月29日の例会は、押野一郎委員長の環境問題意識向上委員会の担当例会です。

環境問題意識向上委員会は、今年度からの環境問題をテーマとした委員会です。コロナ禍でできないこともありましたが、活動報告をいたします。タイアップして活動した埼玉福祉事業協会様や、就労継続支援事業所のココロスキップ様の卓話もあります。多くのご参加をお待ちしています。

## 米山功労者 表彰

■2020-21 年度 米山功労者 表彰

第1回 米山功労者 6名 感謝状【青色】

荒井 理人、胡 平、関根 正也、甘野 幸一、小林 又次郎、十文字 裕司 各会員

第2回 米山功労者 4名 感謝状【銅色】

マルチプル…石三 重則、高橋 秀樹、山崎 一祥、竹内 雅人 各会員

第3回 米山功労者 2名 感謝状【銅色】

マルチプル…内山 泰成、藤嶋 剛史 各会員

第7回 米山功労者 感謝状【銀色】

マルチプル…木本 栄一 会員

第9回 米山功労者 感謝状【銀色】

マルチプル…大熊 雄喜 会員

第14回 米山功労者 感謝状【金色】

メジャードナー…林 正 会員

第15回 米山功労者 2名 感謝状【金色】

メジャードナー…藤池 誠治、高橋 誠一 各会員



## 2021-22 年度地区役員委嘱書授与

藤嶋剛史 米山記念奨学部門委員長、島村まり子 国際交流委員、竹内雅人 資金推進委員、横溝一樹 インターアクト委員、石丸主憲 公

共イメージ向上委員、風岡淳一 クラブ活性化・戦略計画推進委員、松本有祐 国際奉仕委員、吉田浩士 職業奉仕委員、増永裕樹 米山記念奨学増進委員



## 卓話

**ご紹介** 国際奉仕担当委員会委員長 **新藤 栄介** リーは  
ラオスの現地とつなぎ様子をうかがいたいと思います。これまでの支援については、赤尾さんにご説明していただきます。  
お手元にラオスの国旗をご用意しました。これを振って現地と交流をしたいと思います。またパンフレットを見て、理解を深めていただき、支援もいただけたらうれしいです。

**卓話者**  
フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー  
JAPAN  
代表 **赤尾 和美 様**



「今年は急遽必要になったオンライン教育に使用する機材をご提供いただき、本当にありがとうございました。」

**2011年 初現地訪問**  
カンボジア アンコール小児病院



**2012年 カンボジア最終年**  
カンボジア アンコール小児病院現地化前年



2013年、ミャンマーの現地視察を計画するも、爆発があったりして皆さんとは行けなくなりました。

**2015年寄贈 2016年現地視察**  
ラオ・フレンズ小児病院



2015年には、訪問診療に必要な車を寄贈していただきました。

**2018年現地視察 文房具やおもちゃの配布**  
ラオ・フレンズ小児病院3周年記念式典



高橋さんにはラオス語でスピーチをしていただきました。



2019年 小さい子供の命を救う大切な機械、CPAP（持続的に酸素を送る機械）を。

コロナでロックダウン → 外国人スタッフが国外退去 → オンライン教育のための機材は、ミーティング・教育にとっても役立っています



オンラインで現地とつなぎ、様子を見せていただきました。互いの国の国旗を振って、交流を深めました。



